

これからの社会で大切な3つのこと

中溝一仁

(株)アクセスユープラン 代表取締役



いよいよ新しい時代、「令和」を迎えました。この時代の節目にあたって、これからの社会で大切となるものはないでしょうかと思案しました。結論から先にお伝えします。「情報」「教育」「コミュニケーション」。私はこの3つがより重要になってくると考えます。それは、AI技術がさらに発展しビッグデータの活用が進む時代になると、「目に見えないモノ」や「手に取ることができないモノ」の価値が相対的に高まってくると予想されるからです。

「情報」とはデータの羅列ではありません。得られたデータがどのように人の生活を豊かにし役立つかが重要で、活用できる形になって初めて有用な「情報」と呼べるようになります。これから「教育」は、子どもや学生だけでなく「リカレント教育」、つまり社会人の学び直しというニーズが高まることは間違

いないでしょう。社会の変化が早く、知識や技能の陳腐化が激しくなれば当然のことと言えます。「コミュニケーション」については、ICTの発達によってコミュニケーション手段のさらなる多様化が想定されます。人が社会的な動物であるとの前提に立てば、機械化が進めば進むほど、人は人とのコミュニケーションを渴望するようになるでしょう。そのような社会では、コミュニケーションをより円滑に行うことのできる能力が他人との差別化の大きな武器となり、それはビジネスにおける成功のみならず「人生の豊かさ」にまで直結するのかもしれませんが。紙幅が限られるので詳しくは別な機会で述べたいと思いますが、それはP・F・ドラッカーがしばしば言及した「知識労働社会」からさらに歩進んだ「ポスト知識労働社会」の到来かもしれません。

機械や技術の急激な進歩に比べて、人間の持つ能力そのものはそれほど向上しているようには思えません。したがって、そのギャップを埋める作業がどうしても必要になります。そのためにも、これからは上述した3つの「手に取ることができないモノ」を意識しながら、それらに寄り添う形で社会に貢献していく姿勢が大切であると考えております。